※メモ
右のドロップダウンリスト上段左は配線方法を選択に変更しています。
地中管路を追加しました。
地中管路の場合はまず配線方法で地中管路を選択し、右の埋設深さ、管路数に進んでください。

（様式 電－７）

電灯幹線計算書

建物名称 ○○地方

平成20年 8月 8日

電線種別はドロップダウンリストより選択して下さい。

とりあえず1.0としています。
明確な場合は適宜数値を入力して下さい。

幹線番号又は名称	電気方式	電圧 [V]	幹線保護用遮断器定格電流 [A]	系統	こう長 L [m]	負荷名称	[A]	主幹器具定格電流による電線太さ A [mm²]	主幹器具定電流による電線太さでの許容電流 [A]	低減率	負荷容量 [kVA] [kW]	1/(効率×力率)	負荷電流 [A]	需要率	設計負荷電流 I [A]	許容電圧降下 e、e' [V]	電圧降下による電線太さ A [mm²]	幹線保護用遮断器の定格電流による電線種別及び太さ 幹線より分岐された細い幹線 3m<L≦8mの場合 幹線保護用遮断器定格電流×35% 電流 [A]	3m<L≦8mの場合 電線太さ A[mm²]及び許容電流[A]	L>8mの場合 幹線保護用遮断器定格電流×55% 電流 [A]	L>8mの場合 電線太さ A[mm²]及び許容電流[A]	設計 電線種別及び太さ [mm²]	設計 許容電流 [A]	設計 設計負荷電流による電圧降下 [V]	備考
L-N-1	1φ3W	100/200	200		18.5			EM-CET 100	203	0.70	18.92	1.00	189.2	1.0	189.2	0.63	100 (98.89)					EM-CET 100	203	0.63	
	1φ3W	100/200			8.0	L-B1	50	EM-CET 14	73	0.85	4.94	1.00	49.4	1.0	49.4	2.37	3.5 (2.97)	70	14 (73)			EM-CET 14	73	0.51	
	1φ3W	100/200			9.0	L-1	150	EM-CET 100	203	0.70	13.98	1.00	139.8	1.0	139.8	2.37	14 (9.45)			110	60 (147)	EM-CET 100	203	0.23	
L-N-2	1φ3W	100/200	225		71.0	L-1-1	225	EM-CET 150	275	1.00	22.20	1.00	222.0	1.0	222.0	5.00	60 (56.11)					EM-CET 150	275	1.88	
夜間照明	1φ2W	200	100		100.0	L-1-2	100	EM-CE 38	135	1.00	15.00	1.00	75.0	1.0	75.0	6.00	60 (44.5)					EM-CE 60	175	4.45	

図形のコピーはセル範囲を選択して下さい。
消却は図形を選択して下さい。

分岐の場合でも必ず入力して下さい。

右の黄色のドロップダウンリストを選択する事により自動入力されます。

操作手順
① 設計図書に基づき自枠内に数値を入力して下さい。
全て自動入力出来る様になっています。
② 下のL-N-2、夜間照明は配管に入線した場合の計算です。

○電圧降下による電線太さ

1）直流２線式、単相２線式

$$A = \frac{35.6 \times L \times I}{1{,}000 \times e} \ [mm^2]$$

2）単相３線式

$$A = \frac{17.8 \times L \times}{1{,}000 \times e'} \ [mm^2]$$

ただし、
e ：電圧線間電圧降下 [V]
e'：電圧線－中性線間電圧降下 [V]
L：こう長 [m]
I：電流 [A]
A：電線の断面積 [mm²]

H１８

ﾄﾞﾛｯﾌﾟﾀﾞｳﾝﾘｽﾄより選択

上段 ﾗｯｸ配線か管内配線かを選択 下段 分岐幹線である場合の長さを選択	上段 ﾗｯｸ場合の段列を選択 下段 ｹｰﾌﾞﾙ間隔を選択	絶縁電線の場合で周囲温度が30℃を越える場合のその温度を入力
ﾗｯｸ	1段7～20列	
	S=D	
ﾗｯｸ	1段2列	
3m<L≦8m	S=D	
ﾗｯｸ	1段7～20列	
L>8m	S=D	
管内		
2c 管内		

選択して下さい。